

## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月13日  
上場取引所 東

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社  
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03(6229)0881  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	50,205	8.5	1,542	26.2	724	△10.8
30年3月期第3四半期	46,290	—	1,222	—	812	—

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △1,190百万円(—%) 30年3月期第3四半期 755百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	35.82	—
30年3月期第3四半期	43.19	—

- (注) 1. 平成30年3月期第3四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。  
 2. 当社は、平成30年6月26日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っております。平成30年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。  
 3. 平成30年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。平成31年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	169,860	37,860	22.2
30年3月期	167,496	31,041	18.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 37,724百万円 30年3月期 30,921百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	6.1	1,750	65.2	770	6.3	36.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	22,820,530株	30年3月期	18,820,530株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	－株	30年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	20,231,439株	30年3月期3Q	18,820,530株

(注) 当社は、平成30年6月26日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

※ 当社Webサイトに決算情報に関する補足説明資料を掲載しておりますので、ご参照ください。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、経常収益が50,205百万円（前年同期比8.5%増加）、経常利益が1,542百万円（同26.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益が724百万円（同10.8%減少）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	経常収益			セグメント利益（経常利益）		
	第3四半期連結累計期間		増減率 （%）	第3四半期連結累計期間		増減率 （%）
	平成30年3月期	平成31年3月期		平成30年3月期	平成31年3月期	
損害保険事業	18,310	22,015	20.2	512	587	14.6
生命保険事業	17,169	16,310	△5.0	640	957	49.5
少額短期保険事業	10,901	11,960	9.7	332	358	7.8
報告セグメント計	46,381	50,286	8.4	1,485	1,903	28.1
セグメント間消去又は調整	△91	△81	—	△262	△360	—
四半期連結損益計算書計上額	46,290	50,205	8.5	1,222	1,542	26.2

（注）セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

#### （損害保険事業）

損害保険事業においては、収益力の向上及び規模の拡大に向けた取組みの強化、並びに顧客の十分な信頼を得る運営体制の構築を目標に掲げております。こうした目標を踏まえ、ネット通販損保の特性を活かし、競争力のある保険料体系等を強みに顧客基盤の拡大に努めた結果、平成30年12月末の保有契約件数は1,032千件（前年同月末比5.7%増加）となり、100万件を突破いたしました。また、自然災害等の影響により損害率は前年同期比で悪化しましたが、自動車保険契約の取扱いを代理店に一部移管するなどの施策により契約継続率の維持・向上に努めております。当事業における経常収益は22,015百万円（同20.2%増加）、セグメント利益は587百万円（同14.6%増加）となりました。

#### （生命保険事業）

生命保険事業においては、平成29年6月より、住信SBIネット銀行株式会社が提供する住宅ローンをご利用のお客様に、特約を充実させた団体信用生命保険及び「全疾病保障」の団体信用就業不能保障保険の提供を開始し、販売が好調に推移いたしました。また、平成30年6月より、地域金融機関への提供を開始しております。こうした取組みの結果、平成30年12月末の保有契約件数は133千件（同16.7%増加）となりました。資産運用面では、保険金支払のためのソルベンシー確保を第一に考え、安全性を重視し長期的かつ安定的な運用収益の実現に努めました。当事業における経常収益は16,310百万円（同5.0%減少）、セグメント利益は957百万円（同49.5%増加）となりました。

#### （少額短期保険事業）

少額短期保険事業においては、引き続き、新聞、ラジオ、テレビ等を中心としたマス媒体の露出を積極的に拡大するとともに、全国主要都市における代理店販売網の拡大に向けた取組みを推進した結果、平成30年12月末の保有契約件数は661千件（同7.9%増加）となりました。当事業における経常収益は11,960百万円（同9.7%増加）、セグメント利益は358百万円（同7.8%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、169,860百万円（前年度末比2,363百万円増加）となりました。主な勘定残高は、有価証券120,914百万円（同2,891百万円増加）、現金及び預貯金26,539百万円（同2,180百万円減少）であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、131,999百万円（同4,455百万円減少）となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金123,473百万円（同3,057百万円減少）であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、37,860百万円（同6,819百万円増加）となりました。主な増加要因は、公募増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,996百万円増加したことあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績の見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間の実績に加え、最近の業績動向や今後の各事業における様々な不確定要素を踏まえ、平成30年9月27日の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表した業績予想数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	28,720	26,539
金銭の信託	3,099	3,096
有価証券	118,023	120,914
貸付金	446	257
有形固定資産	341	382
建物	135	147
リース資産	39	63
その他の有形固定資産	165	171
無形固定資産	2,940	3,487
ソフトウェア	2,273	2,850
のれん	665	635
その他の無形固定資産	1	1
代理店貸	139	92
再保険貸	3,213	3,843
その他資産	9,376	10,060
繰延税金資産	199	187
支払承諾見返	1,000	1,000
貸倒引当金	△4	△2
資産の部合計	167,496	169,860
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	126,531	123,473
支払備金	12,706	14,206
責任準備金	113,659	108,780
契約者配当準備金	164	486
代理店借	286	130
再保険借	2,959	3,116
その他負債	5,216	3,748
退職給付に係る負債	14	17
価格変動準備金	432	498
繰延税金負債	16	15
支払承諾	1,000	1,000
負債の部合計	136,455	131,999
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,240	7,236
資本剰余金	26,926	30,922
利益剰余金	715	1,440
株主資本合計	30,881	39,598
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	40	△1,873
その他の包括利益累計額合計	40	△1,873
新株予約権	—	21
非支配株主持分	119	113
純資産の部合計	31,041	37,860
負債及び純資産の部合計	167,496	169,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
経常収益	46,290	50,205
損害保険事業	18,283	21,980
保険引受収益	18,128	19,546
正味収入保険料	18,118	19,536
積立保険料等運用益	9	9
資産運用収益	86	209
その他経常収益	68	2,224
生命保険事業	17,156	16,295
保険料等収入	6,070	6,764
保険料	5,392	5,983
再保険収入	678	781
資産運用収益	7,574	3,263
利息及び配当金等収入	1,990	2,488
有価証券売却益	710	289
為替差益	196	484
貸倒引当金戻入額	—	1
その他運用収益	0	0
特別勘定資産運用益	4,677	—
その他経常収益	3,511	6,267
少額短期保険事業	10,850	11,929
保険料等収入	10,781	11,833
資産運用収益	0	0
その他経常収益	68	95
経常費用	45,067	48,662
損害保険事業	17,783	21,386
保険引受費用	13,048	16,328
正味支払保険金	12,229	13,563
損害調査費	2,299	2,613
諸手数料及び集金費	△2,708	△2,580
支払備金繰入額	621	1,922
責任準備金繰入額	606	809
資産運用費用	28	64
営業費及び一般管理費	4,703	4,988
その他経常費用	2	4

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
生命保険事業	16,461	15,338
保険金等支払金	13,645	9,956
保険金	1,161	919
年金	3,083	2,321
給付金	773	907
解約返戻金	6,823	3,733
その他返戻金	1,127	1,023
再保険料	675	1,050
資産運用費用	562	2,986
支払利息	1	1
有価証券売却損	—	248
金融派生商品費用	526	866
貸倒引当金繰入額	0	—
その他運用費用	35	31
特別勘定資産運用損	—	1,836
事業費	2,232	2,343
その他経常費用	20	51
少額短期保険事業	10,559	11,577
保険金等支払金	6,254	6,941
責任準備金等繰入額	83	147
事業費	4,173	4,470
その他経常費用	48	16
その他	262	360
経常利益	1,222	1,542
特別利益	80	—
受取補償金	80	—
特別損失	114	66
固定資産処分損	7	—
減損損失	52	—
価格変動準備金繰入額	52	66
その他特別損失	1	—
契約者配当準備金繰入額	82	505
税金等調整前四半期純利益	1,106	971
法人税及び住民税等	288	207
法人税等調整額	△1	35
法人税等合計	286	242
四半期純利益	819	728
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	812	724



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	819	728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	△1,919
その他の包括利益合計	△64	△1,919
四半期包括利益	755	△1,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	748	△1,189
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年9月27日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場し、平成30年9月26日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による増資により、資本金及び資本準備金がそれぞれ3,996百万円増加いたしました。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益 (注) 1						
外部顧客への経常収益	18,283	17,156	10,850	46,290	—	46,290
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	27	12	51	91	△91	—
計	18,310	17,169	10,901	46,381	△91	46,290
セグメント利益 (注) 3	512	640	332	1,485	△262	1,222

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△262百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

生命保険事業における保険事業用資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（52百万円）として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	21,980	16,295	11,929	50,205	—	50,205
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	35	14	31	81	△81	—
計	22,015	16,310	11,960	50,286	△81	50,205
セグメント利益(注) 3	587	957	358	1,903	△360	1,542

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△360百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。